



セレガードEP[®]



(社)地域資源循環技術センター 「農業集落排水施設のコンクリート防食設計・施工の手引き」
(エポキシエマルジョンを混和材とする無機質浸透性防水材)品質規格適合

セレガードEP[®]は、無機質系微粉末と水系エポキシ樹脂とを配合した浸透性防水材です。
コンクリート躯体表面に塗布する事により、防水性能を示します。

特長

施工性

- コンクリート躯体表面が湿潤状態※でも施工可能です。(※浮き水等がある場合を除きます。)

防水性

- セレガードEP[®]防水層は、透水性が非常に低く、コンクリート躯体を保護します。

接着性

- 水系エポキシ樹脂を配合した事により良好な接着強度が得られます。

用途

- 農業集落排水処理施設(防水工指定箇所)
- その他の簡易防水
(事前に当社にご相談ください。)

荷姿

主剤	2kg	16.5kgセット
硬化剤	2.5kg	
粉体	12kg	

配合・標準塗布面積

■配合比率

配合比(重量比)	主剤	硬化剤	粉体
	1	1.25	6
セットあたり	2kg	2.5kg	12kg

■標準塗布面積

標準使用量	1セットあたりの標準塗布面積
1.5kg/m ²	11m ²

性能試験結果

項目		品質規格	試験結果
容器の中での状態	粉体	堅い塊がなく外観に異常がないこと	異常なし
	樹脂液	かき混ぜたとき、塊がなく一様なこと	異常なし
接着強さ	標準状態	0.98N/mm ² {10kgf/cm ² } 以上	1.96 {20}
	浸漬後	0.98N/mm ² {10kgf/cm ² } 以上	2.65 {27}
耐ひびわれ性		ひびわれが発生しないこと	異常なし
耐衝撃性		われ、はがれがないこと	異常なし
耐久性		われ、ふくれ、はがれがなく付着強さが0.78N/mm ² {8Kgf/cm ² } 以上	異常なし 2.16{22}
透水性		透水量が0.2g以下	0.0
耐酸性		PH4の硫酸水溶液に30日浸漬しても外観に異常がないこと	異常なし

(社) 地域資源循環技術センター 「農業集落排水施設のコンクリート防食設計・施工の手引き」
(エポキシエマルジョンを混和材とする無機質浸透性防水材)品質規格による。試験場所:(財)日本塗料検査協会

本製品は ISO 9001 認証事業所において製造されています。

SHOWA DENKO KENZAI K.K.

施工要領

〈コンクリートの躯体処理〉

- ①欠陥部、セパレータ端部はあらかじめ処理してください。
※欠陥部(表面の異物、脆弱部、型枠段差、豆板部、コールドジョイント、打ち継ぎ部、ひびわれ、漏水等)
- ②水洗等によりコンクリート躯体表面を十分に清掃してください。

〈セレガードEP®の塗布〉

- ①配合方法
原則としてセット単位で配合、混練してください。
主剤2kgに硬化剤2.5kgを加え、ハンドミキサー等で攪拌した後、次に粉体12kgを徐々に加えながら全体が均一になるまで十分に混練します。
(※主剤・硬化剤は容器を軽く振ってから混入してください。)
- ②下塗り
下地が正常である事を確認した後、必要に応じて下地コンクリートの水湿しを行ってください。
(結露水、浮き水等がある場合は、布等で拭き取ってください。)
セレガードEP®(0.8kg/m²)を金コテ等を用いてムラ、ピンホールのないようにシゴキ塗りをします。
- ③上塗り
下塗りの表面が指触乾燥し、材料が動かないことを確認した後、セレガードEP®(0.7kg/m²)金コテ等を用いてムラ、ピンホールのないように仕上げ塗りをします。

〈養生〉

施工後に結露が発生しやすい箇所では、送風機等で換気養生をしてください。
通風や直射日光等により急激な乾燥の恐れがある場合はシート等で養生してください。
塗り付け後の養生は3日以上(20℃)としてください。

注意事項

〈施工上の注意〉

- 気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適当な保温、採暖を行ってください。
- 施工中及び施工後、硬化前に降雨、降雪の恐れのある場合は施工を中止してください。
- 現場にて砂、セメント等を追加混入することは絶対に避けてください。
- セメント製品に特有の現象である白華(エフロ)が発生することがありますが、品質に異常はありません。

〈使用上の注意〉

- 取扱い時は、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用してください。
- 取扱いは換気の良い場所にて行ってください。
- 取扱い後はうがい及び手洗いを充分に行ってください。
- 取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。

〈応急処置〉

目に入った場合：直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。
皮膚に付着した場合：直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
誤飲した場合：多量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。

〈保管上の注意〉

- 〔粉体〕
- 雨露のかからない湿気の少ないところに保管し、地面に直接放置しないでください。
 - ご購入された製品は製造日から6ヶ月以内にご使用ください。

〔混和液〕

- 凍結や直射日光を避ける為に必ず室内(5~40℃)に保管してください。
- 開封後の使用残は密封した状態で保管してください。

〈輸送上の注意〉

- 粉体、混和液とも内容物の漏れが無い事を確認し、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- 湿気、水漏れに注意してください。

〈廃棄上の注意〉

- 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

〈漏出時の注意〉

- 飛散した粉体は掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。
- 流出した混和液を流路を毛布、土壌等を用いてせき止め、バキューム等で吸い上げるか、少量の場合はおが屑、ウエス、乾燥砂等に吸収させて回収し焼却してください。
- 粉体が混合した排水は中和、希釈処理などを行い、河川等に直接流出しないようにしてください。

〈環境への配慮〉

- 混和液が海、河川、湖沼、池、下水道、公共用水域へ流出すると、広範囲にわたって汚濁汚染することとなるので、絶対に破棄したり誤って流入させないでください。万一が流入した場合は地方自治体の担当者に直ちに連絡してください。
また、地下水を汚染するおそれのある地中には捨てないでください。

このカタログの記載内容は'14.7月現在のものです。製品改良のためにことわりなく仕様変更する場合がありますのでご了承下さい。
カタログに記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。

昭和電工建材株式会社

■本社・建設資材営業部 〒221-0024 横浜市神奈川区恵比須町2-1 TEL(045)444-1691 FAX(045)444-1699 <http://www.sdk-k.com/>

■仙台営業所	〒983-0044	仙台市宮城野区宮千代3-2-14	TEL (022)236-7108	FAX (022)283-0694
■名古屋営業所	〒460-0008	名古屋市中区栄2-9-26	TEL (052)218-8085	FAX (052)202-1202
■大阪営業所	〒532-0011	大阪市淀川区西中島6-5-3	TEL (06)6100-2202	FAX (06)6100-1232
■福岡営業所	〒812-0025	福岡市博多区店屋町5-22	TEL (092)281-9881	FAX (092)281-9505
■関東SCMセンター	〒120-0024	足立区千住関屋町1-4	TEL (03)3881-5001	FAX (03)3870-3952
■東北SCMセンター	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町1-7-2	TEL (022)231-2070	FAX (022)231-2073
■中部SCMセンター	〒452-0837	名古屋市西区十枚町172	TEL (052)501-2421	FAX (052)501-2424
■関西SCMセンター	〒567-0058	茨木市西豊川町14-3	TEL (072)641-6399	FAX (072)641-6401

■ ISO 9001 品質マネジメントシステム登録事業所